

名鉄病院newsletter

平成24年 新春号



ご あ い さ つ

日頃は、病診連携、病病連携を通じ、当病院に多くの患者様をご紹介いただき、職員を代表し深く感謝申し上げます。

昨年3月、我が国は東日本大震災という大災害に見舞われ、多くの生命が失われました。この大災害の中でも、人々がお互いに助け合い、そして復興に向け努力する姿に感動すると共に、家族が健康で安心して暮らせる幸せを実感した出来事でした。

我々病院の役目は、皆様に安心して受診して頂く医療を提供することです。いま国では「社会保障と税の一体改革」が議論されています。医療の分野では、とりわけ健康保険立病院である名鉄病院にとっては厳しい状況が続いておりますが、2次救急病院として、また名鉄病院のアイデンティティーを保ちながら、改革するところは改革し、皆様に信頼される丁寧な医療を心掛けたいと思います。

今年は薬剤の院外処方化や1号館の改築の案件など懸案の問題が山積みしておりますが、名鉄病院一同、情熱を持って地域医療に取り組んでまいりますので御支援の程よろしく願いいたします。

名鉄病院 病院長 細井 延行

INDEX

- 地域医療連携室より…………… P2
よりよい医療連携をめざして
- 診療科からご挨拶…………… P3.4
泌尿器科のご紹介

- 現場スタッフから…………… P5
3F病棟のご紹介
- 診着情報…………… P6
新任のご紹介
- 院フォメーション…………… P6

ほか

よりよい医療連携をめざして

「ふだんはかかりつけ医」、「なにかあったら名鉄病院」

地域医療連携室長 佐尾 浩

名

鉄病院は、地域の医療機関との密接な連携のうえに成り立っている病院です。

今後はこの連携をさらに強化していく予定です。

具体的には、症状の安定した患者さんは、できるだけ地域の医療機関（かかりつけ医）に受診していただくよう、病院全体でお勧めしていきます。

今後、当院から地域の先生方へ患者さんが紹介されることがあると思いますが、その際にご高診よろしくお願ひ致します。

かかりつけ医に受診している患者さんが、検査、入院治療などが必要になった場合は、当院で責任をもって診療させていただきます。その際は当院へのご依頼をぜひよろしくお願ひ致します。

このように「ふだんはかかりつけ医」、「なにかあったら名鉄病院」という両者の役割分担をいままで以上に明確にして、よりよい医療連携を構築し、地域医療に貢献していきたいと考えています。

●逆紹介の具体的手順

逆紹介を行なう場合、紹介先の希望を患者さんに確認させて頂き、患者さんの望まれる医療機関をご紹介させていただきます。

- 1) 主治医から、逆紹介に関する説明をさせていただきます。
- 2) 患者さんが主治医からの説明を受け、納得されたら地域医療連携室へお越しいただきます。
- 3) 紹介先の案内は、**地域医療連携室の看護師**が対応します。
- 4) 患者さんの希望（地区・診療の内容）をおたずねし、それにあう紹介先を検索し、提示します。
- 5) その際は、**当院の登録医療機関**を優先的に紹介します。
- 6) 紹介が決まりましたら、受入可能か確認のご連絡をさせていただきます。
- 7) 事前連絡なしで、当院の紹介状をお持ちになる患者さまが受診される場合もありますが、その際は宜しくお願ひいたします。
- 8) 病状の変化（検査依頼・重症化など）があり、当院への受診が必要な際は、下記の**地域医療連携室**にご連絡下さい。



名 鉄 病 院
医療支援センター
地域医療連携室
TEL(052)586-5755
FAX(052)586-5756

泌尿器科のご紹介

体外衝撃波結石破碎装置を更新しました!!

泌尿器科部長 成島 雅博

当科では、素早く的確な診断を行い日本のトップレベルの治療を提供することを目標としております。常勤医師は平成22年4月から平成19年卒の成田英生医師を加え4人体制となりました。外来診療は、平成23年4月から名古屋大学泌尿器科医局から代務医師を派遣いただき完全2診体制となり初診待ち時間が短縮しました。



設備面では、平成22年8月から軟性膀胱鏡(ハイビジョン電子スコープ)を導入し、男性の膀胱鏡検査による苦痛が軽減されました。また、平成23年12月には体外衝撃波結石破碎(ESWL)装置を最新のフランスエダップ社製ソリス・アイシスに更新しました。以前のエダップ社製ブラックティスに比較して治療時の疼痛が軽減し、体格の大きな患者様の骨盤内結石の治療が容易になり治療成績改善が見込めます。

泌尿器科悪性腫瘍全般に対しての低侵襲手術:ミニマム創内視鏡下手術も順調で、昨年までに前立腺癌に対しては180例、腎癌や腎盂尿管癌に対しは60例以上、膀胱癌に対しての膀胱全摘出術も30例施行しました。いずれも5~6cmの小切開創からの手術です。

一方、低侵襲手術の腹腔鏡手術も腎・副腎疾患に対して施行しています。特に昨年から内分泌内科と連携して原発性アルドステロン症など副腎腫瘍に対しての手術も開始しました。

さらに当科では女性泌尿器科にも力を入れています。以前から行なっていた腹圧性尿失禁手術(TVT手術やTOT手術)に加え、骨盤内臓器脱(子宮脱・膀胱瘤・直腸瘤・膣断端)に対するTVM(メッシュ使用)手術を昨年までに344例施行しています。

● 当科が力を入れている治療について説明いたします。

■ ミニマム創内視鏡下手術

(腎細胞癌、腎盂・尿管癌、膀胱癌、前立腺癌、副腎腫瘍、腎・尿管良性疾患)

5~6cmの小切開創から腹腔鏡を使用して行う低侵襲手術です。術後回復が速やかです。保険適応ですが、膀胱全摘出術は先進医療となっていますので開放手術費用(保険適応)に加えて76,810円の自費負担が加算されます。



ミニマム創内視鏡下膀胱全摘出術+新膀胱造設術風景

■ 腹腔鏡手術

腎・腎盂尿管癌や良性疾患、副腎腫瘍に対して行なっています。名古屋大学泌尿器科医局から泌尿器科腹腔鏡技術認定医及び泌尿器科腹腔鏡技術認定医審査委員の資格を持った後藤百万教授と服部良平准教授を招いて手術を施行しております。手術症例の術後経過は良好であります。

■ 前立腺肥大症

現在の手術治療のゴールドスタンダードはTUR-P(経尿道的前立腺切除術)です。当科では年間100例ほどの手術を行っています。名古屋大学泌尿器科関連病院中最も多い手術件数です。切除重量が50gを超える大きな肥大症例でも輸血なしで安全に施行しています。

■骨盤内臓器脱(子宮脱・膀胱瘤・直腸瘤・陰断端脱)

膣口から子宮・膀胱・直腸などが脱出して外陰部違和感・下垂感や排尿困難・頻尿・尿失禁・便秘などを引き起こす女性特有の疾患です。TVM(Tension free vaginal mesh)手術は、今世紀フランスで開発された従来の手術方法に比べ低侵襲(子宮温存手術)で再発率(5%以下)の低いメッシュを使用する手術です。7日間の入院です。



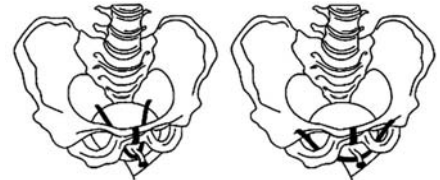
TVM 手術風景

主に女性泌尿器科外来

(電話予約制:地域医療連携室での予約または泌尿器科外来での電話予約)で初診を承っております。

■女性腹圧性尿失禁

尿道スリングテープ手術(TVT手術・TOT手術)を行っています。20分程度で終了する低侵襲手術で、改善率は90%以上です。5日間の入院です。



TVT 手術

TOT 手術

■尿路結石

昨年末に体外衝撃波結石破砕(ESWL)装置を最新のフランスエダップ社製ソリス・アイシスに更新しました。以前のエダップ社製プラクティスに比べ、衝撃波発生装置の反響レンズの口径が大きくなり、焦点距離が13cmから17cmに延長しました。このため治療中の疼痛が軽減され、体格の大きな患者様の骨盤内結石にも焦点が正確に合わせることが可能になりました。

ESWL による碎石不能結石に対しては、内視鏡手術の TUL(経尿道的尿管碎石術)、PNL(経皮的腎碎石術)による治療を行って、全ての結石に対応しています。



体外衝撃波結石破砕装置



大口径衝撃波発生ヘッド



■過活動膀胱、切迫性尿失禁

尿意切迫感に頻尿、切迫性尿失禁を合併した症候群です。抗コリン剤に加え、新たにβ3刺激剤(ベタニス)が治験薬に加われました。当科では、排尿機能検査士が詳細な尿流動態検査を施行し精度の高い治療を行っています。

■間質性膀胱炎

蓄尿時の膀胱痛が特徴的な、原因が特定されていない疾患です。アレルギーの関与が考えられています。脊椎麻酔科に膀胱を水圧で拡張する膀胱水圧拡張術が診断と治療になります。DMSO 膀胱内注入や IPD カプセル内服などによる術後維持療法を一貫で行っています。

■外来医師担当表

		月	火	水	木	金	土
午前	1診	下地	成田	下地	小嶋	成田	成島・高木・
	2診	小嶋	成島	高木	成島	高木	成田(交代)
午後			成島		成島	女性泌尿器 成島	

※土曜日は第1のみ。女性泌尿器外来は第1・3金曜日のみ。

3F病棟のご紹介

患者さまが早く退院できるように
職員一同笑顔で頑張っています!!



3 F病棟は、病床数45床の消化器外科・婦人科を主科とした急性期病棟です。スタッフは、看護師28名、クラーク1名、看護助手2名で声を掛け合いチームワークを大切に頑張っています。

看護は、固定チームナーシングを取り入れており、患者様へは受け持ち看護師・チームメンバーと共に継続性のある看護を提供させていただいています。

手術件数は月平均で、消化器外科は約36件・婦人科は約7件となっています。

緊急手術も多く受け入れており、受け入れが決まった時点でリーダーを中心にスタッフたちが役割を分担し、スピーディーに手術が受けられるように対応しています。

がん疾患については手術後の化学療法・放射線療法の看護が安全に行えるよう精一杯の配慮をして頑張っています。

がん性疼痛看護認定看護師を中心に疼痛緩和にも医師と連携し、快適な入院生活が送れるよう看護にあたっています。

また、最近は大腸癌患者の増加に伴い、一時的・永久的に人工肛門となる患者さまが増えています。身体の一部となった人工肛門の管理・指導を個々の患者さまに適した方法で援助するよう心掛けていますが、なかにはストマ製品が合わず、苦慮していることもあります。スタッフは明るく、日々奮闘している3F病棟です。

認定看護師の紹介（がん性疼痛看護）

伊藤 恵子

平成23年6月にがん性疼痛看護認定看護師に合格しました。
がん性疼痛看護とは、がんの痛みにも苦しむ患者さま・家族の症状マネジメント、薬物療法の適切な使用と管理及びその効果の評価を行い、患者・家族の生活の質をより高めることができるように支援する看護です。

私は、現在3F病棟に勤務し、病棟の患者さま・家族を中心にケアを行っています。今後は入院中の方のみならず、痛みで苦しむ方の相談にも応じたいと考えておりますので、気軽にご相談下さい。



新任医師のご紹介

消化器内科 上野 泰明

本年1月より西尾市民病院より異動となった上野です。
 まだ慣れないところがあり御迷惑をおかけすると思いますが、名鉄病院のお力になれるよう頑張りたいと思います。
 自分自身の成長とともに後輩医師の指導にも力を入れたいと考えております。宜しくお願いいたします。



副看護部長のご紹介

看護部 野中 時代

本年1月より、赴任いたしました野中です。
 正直言って、名鉄病院をほとんど知らない状態で副看護部長という職をいただき、自問自答しています。そのような中、ラウンドして安心できたのは、現場の人たちが笑顔で勤務し、元気な挨拶が飛び交う職場であったことです。看護部の中で年齢だけはみんなに負けない私ですが、若い人たちからパワーをもらい、一緒に頑張りたいと思っています。看護部長を補佐しながら、人材育成と経営面への看護部の関りに貢献したいと考えています。

世の中を変えるのは現場の人たちです。常に「うんと笑い」他の人のよいところを発見し合い、お互い成長できる職場環境をみんなで作ってきたい。

本年は名鉄病院にとって重要な年であり、永続性のある病院を目指して、少しでも貢献できればと思っています。

元気に頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



院 フォメーション

名鉄病院からのお知らせ

◆ 栄生小学校からの贈り物

今年も栄生小学校園芸部のみなさんが心を込めて育てた花(3鉢)を病院内に飾らせていただきました。

『栄生小学校のみなさん、ありがとうございました。』



名古屋鉄道健康保険組合 名鉄病院

〒451-8511 名古屋市西区栄生2-26-11

TEL.052-551-6121(代)

TEL.052-586-5755 FAX.052-586-5756 (地域医療連携室)

URL : <http://www.meitetsu-hospital.jp/>